



北村 あや子 区政ニュース

ひとり親家庭の子等のための大学等進学支援事業 11月から始まります

ひとり家庭の子どもが大学や専門学校に進学する際に係る費用の負担軽減のために、荒川区補助制度が11月から始まります。荒川区議会6月本会議で、大学や専門学校などの高等教育を受ける方々にも荒川区奨学資金(高校進学向け)と同等もしくはそれ以上の支援を求めたところでしたので、前進してよかったです。



補助対象者

(1)高校卒業年度に児童扶養手当受給の家庭の学生進学で生活保護受給世帯から分離した学生で①～④の要件を満たす者

- ①申込時に3年以上連続して区内に居住している学生
- ②日本学生支援機構の給付型・貸与型奨学金利用者
- ③入学する年の3月31日に21才未満の学生
- ④申請日に本人もしくは親等のうち1名が区民である学生

(2)ケアリーバーの学生

＊ケアリーバーとは：児童養護施設や里親など社会的養護のケアのもとから離れた子どものことを言います。18歳になり高校卒業のタイミングで施設を退所あるいは里親から離れ、社会に出て自立することが求められています。

インフルエンザが流行… ワクチン助成 9月24日～

インフルエンザの流行が早まっています。荒川区は予防接種事業の開始日を9月24日(木)から前倒して実施することです。65歳以上、6か月～15歳未満の方は無料で接種できます。まずは手洗い、マスクなど基本的な感染予防・対策を。

【問合せ】予防接種係 電話 03-3802-3574

発行：日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp
＜北村あや子事務所＞
荒川区西尾久2-4-8-1階
TEL&FAX:3894-6668



補助対象経費

- ①授業料・入学金(国の高等教育修学支援制度で軽減される額は差し引く)
- ②施設維持費 ③研修費等の勉学のために大学に直接支払う諸経費

補助上限額

年間50万円(2026年4月分から遡って適用)

周知方法

ひとり親家庭に配信しているメールマガジンに掲載
一年に一度の現況届の際にお知らせなど

【問合せ】子育て支援課 TEL 03-3802-3111(代表)

なんと!!元区民の方から多額の寄付

経済的な事情を抱える家庭の子どもの支援に活用してほしいと荒川区に1億円の寄付が寄せられたそうです。しかも継続して一定期間、毎年寄付をするとのこと。本当にありがたいことで「子ども基金」として活用することを区が決めました。9月3日の文教子育て委員会では、基金残高がなくなれば事業を終了する旨の答弁でした。必要性を把握しているのですから、その後も区の財源で継続できるよう求めていきます。

	定期接種(高齢者・65歳以上)	任意接種(小児接種)
接種期間	令和8年9月24日(木)～令和9年1月31日(日)	
自己負担額	無料	
接種場所 および 接種方法	【9月～】 ・区内協力医療機関 ・9月24日以降、予防接種係(03-3802-3574)へご連絡のうえ、がん予防・健康づくりセンター窓口にて予防票をお受け取りください。予防票は医療機関へご持参ください。	・区内協力医療機関 ・医療機関に備え付けの予防票に必要事項を記入してください。
	【10月～】 ・23区内の協力医療機関 ・9月28日以降に郵送される定期接種予防票に必要事項を記入のうえ、協力医療機関へご持参ください。	

※ 高齢者定期接種のワクチンについて、国から高用量ワクチンの令和8年度の定期接種化を見送る方針が示されたため、令和8年度は従来の通常量ワクチンの接種となります。



パブリックコメント2件実施中 ご意見をどうぞ！

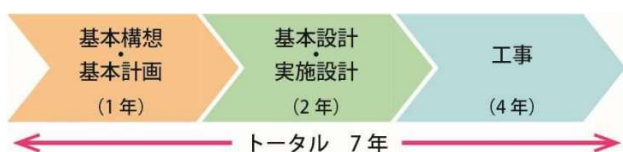
現在、荒川区では2件のパブリックコメントが実施されています。いずれも締め切りは9月30日。QRコードは区のホームページにつながります。率直なご意見をお寄せください。

荒川区学校施設建替え計画等の策定について

9月3日の文教子育て委員会に「学校施設建替え計画素案」が報告されました。



この間、2024年12月4日・2025年7月1日・2026年2月4日と3回、中間報告が出され文教子育て委員会・本会議・決算予算特別委員会で議論。町会やPTA等での説明会が行われました。



第六瑞光小学校からは、バス通学には問題が多いことや小規模校の良さ・特別支援学級との交流・インクルーシブ教育の実践などから瑞光小学校との統合は止めてほしい等の意見が出されました。

その結果、当初の計画が変更され①六瑞小を瑞光小に統合して、六瑞敷地内代替校舎は中止。②六瑞小は2038年度末まで継続 ③代替校舎を荒川遊園B地区につくり、尾久宮前小4年前倒して第一期建替え計画に入れる。④赤土小を第二期に、四峡小を第一期にする等の変更がありました。

全区的には30年間の計画になります。

検討課題はまだあります

●学校の学級数12～18が適正としているのは、学校統廃合による新築を対象にした国庫補助金の基準ですが、国は統廃合や小中一貫校などの建替えだけお金を出すと、誘導の方向です。



●WHOは、学校の規模は100名を上回らないとしている。統廃合ではなく小規模校の良さを大事にすること。

●小中一貫校に保護者の期待もあるが、大規模校化などデメリットも多く慎重な検討が必要。

●6瑞小より児童数が多い瑞光小の代替校舎は南千住野球場を考える必要がある。

●学校と公共施設の複合化は財政効率ではなく、より良い教育環境を最優先にすることなど
これまで以上に丁寧に説明し意見を聞くこと。小中一貫校やプールの拠点校・民間プール利用など新しい課題については、重点的に意見が出るように工夫すること…。



荒川区基本構想素案

荒川区では、区民・企業・団体・区など、地域に関わるあらゆる主体が連携・



協働しな

がら2040年の荒川区の未来を創っていくための指針となる、基本構想の策定を進めています。私も基本構想審議会の委員として議論に加わってまいりました。このたび、荒川区基本構想の素案を区長に答申、作成しました。

		←第一期→ ←第二期→																	
		R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	
代替校舎	生涯学習センター（既存）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	第五中学校敷地内（新設）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	荒川遊園B地区（新設）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	汐入東小学校（既存）																		



日時 **10月16日(金)** 18:30～20:00

会場: **北村あや子事務所**

TEL. 3894-6668 要予約

生活のこと仕事のこと、一人で悩まず相談を

